

## World News

### ロケット関連ニュース

#### 1. Ariespace、Boeing Launch Services、 および三菱重工業は、打上げサービスで 提携

ワシントン、2003年7月30日-Ariespace S.A.、Boeing Launch Services (BLS)、および三菱重工業、Ltd. (MHI) は、予定通りの打上げを世界の顧客に保証するために3社が打上げサービスの力を結集する新しい商用打上げサービスを提供するための提携に合意したと発表しました。

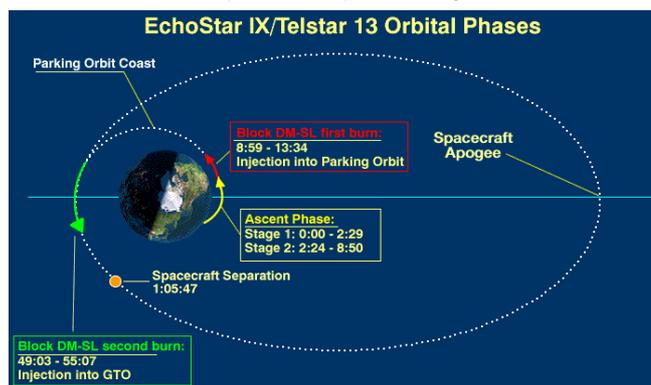
乗客が、いくつかのパートナー航空会社のフライトスケジュールを、1枚の切符を買う事でどこへでも接続できる商業航空会社と大変類似しているこの新しい打上げ提携サービスは、商業打上げミッションスケジュール確保の信頼性を高める事になる。この提携の下に、Ariespace、BLS、およびMHIは、予定通りの軌道上納入を保証する為に、ユニークなサービスを提供出来るようになる。この3社提携は、各社が個々にマーケティングし、顧客に個々の打上げサービスも行う。

—Ariane 2003. 7. 30 プレリリース記事—

#### 2. Sea Launch は EchoStar IX/テルスター 13 衛星の打上げの為に LONG BEACH の 母港を離れ打上げ地点に向かった。

LONG BEACH、Ca.、2003年8月1日  
オデッセイプラットフォームと Sea Launch 発射管司令船は、EchoStar 社と Loral Skynet のための EchoStar IX/テルスター13 衛星打上げのため母港を離れた。

打上げは8月7日8:30PM PDT(3:31GMT)から2時間の打上げウインドウでの打上げを予定されている。Sea Launch 母船は、ロングビーチの Sea Launch 母港から西経154°の赤道の打上げサイトへ向かった。到着後、72時間の秒読みが始まり、打上げプラットフォームには、打上げを安定させる為にバラスとの底荷が積まれる。3日間の秒読みの間に、打上げロケットと衛星の最終テストを実行し、打上げの準備をする。3段 Zenit-3SL ロケットは、4737kg (104431b) 静止転移軌道の760kmの近地点へ EchoStar IX/テルスター13 衛星 を打ち上げる。これは、スペースシステムズロールのために Sea Launch が実行するいくつかの打上げ契約の1番目です。



LS-1300-クラスの EchoStar IX/テルスター13 衛星は、西経121°で運用される。EchoStar の Ku-バンド固定衛星通信サービス (FSS) トランスポンダは、その合衆国への DISH ネットワークサービスを強化するために設計された。衛星は、また、C-バンドペイロードだけでなく合衆国の最初の商用 Ka-バンドスポットビームペイロードを1本搭載している。EchoStar は、Ku-と Ka-バンドペイロードをこの衛星に搭載した。Loral Skynet は、テルスター13としてCバンドを所有し、運用する。

C-Band は 36MHz 帯域で 24C バンドトランスポンダを搭載し、アラスカ、ハワイ、プエルトリコ、メキシコ、および中央アメリカを含む北アメリカへサービスを提供する。  
—Sea launch 2003. 8. 1 プレスリリース記事—

## 衛星関連ニュース

### 1. 会社更生法申請の前提条件として Loral は INTELSAT に対し 6 機の衛星を 11 億ドルで売却する契約に合意した

ニューヨーク-2003 年 7 月 15 日-

Loral スペース&通信 Ltd. (NYSE:LOR) は 6 機の北米上空の通信衛星をインテルサット社に 11 億ドルキャッシュベースで売却する為の契約に合意した。この売却は合衆国破産管理法 11 条の会社更生法のファイリングの為に自発的に行ったものである。Loral は、会社を再生する為に、また将来の成長のための機会の為に 5 つの衛星およびその衛星製造オペレーション部門を再編するつもりである。

ニューヨーク南地区の合衆国破産法廷に提出した第 11 条申請は Loral に 6 つの北米衛星を自由に売ることができ、総ての問題を明確にする事を要求されている。また、Intelsat は、新衛星を Loral に発注するため事に同意し、北米衛星の売却完了するまでに 1 億ドルを支払う事を今日発表した。Loral は、確保された銀行負債のすべてを 9 億 5900 万ドルに払い戻すために北米衛星の売却益のほとんどを使用することを予定しており、また会社更生法で規定している処理を 4 ヶ月から 6 ヶ月まで完結する事を期待している。Intelsat との契約は、現在軌道上で運用中のテルスター 4、5、6、および 7、今年、および来年に打上げを予定されているテルスター 13 と 8 が含まれている。

その Loral の子会社の Skynet を通して、残った 5 機の通信衛星群およびその VSAT/ファイバーグローバルネットワークインフラを使って、統合固定衛星ネットワークサービスビジネスの運用続ける。Loral 衛星は、現在テルスター 10、11、および 12 衛星が軌道上にあり、テルスター 18/Apstar V とテルスター 14/Estrela do Sul が 9 ヶ月以内に打上げられる予定である。この衛星群は南アメリカ市場、ヨーロッパおよびアジアでサービス中で、今後成長性があると考えている。Loral は、スペースシステムズロラル(SS/L)を保有し衛星の設計、製造、および衛星システムの運用を続ける。

—Loral 2003. 7. 15 プレスリリース記事—

### 2. Lockheed Martin は Rainbow 1 衛星を 7 月 17 日米国東部時間 10 : 35pm にケープカナベラル空軍宇宙センターから打上げた。

Cablevision Systems Corporation と

Lockheed Martin は、7 月 17 日

International Launch Services (ILS) によって提供された Atlas V ロケットでケープカナベラルから、Rainbow 1 通信衛星の打上げに成功したと発表しました。



Rainbow 1 は高出力 Ku-バンド衛星で、西経 61.5 度の静止軌道から、合衆国 (CONUS) 内で直接放送サービスを提供する。

衛星は、合成して 135 ワットのトランスポ

ンダーおよび 65 ワットのトランスポンダーで 24MHz 帯域の Ku-バンドを特徴とする。ペイロードは柔軟な設計となっており、22 の個別のプログラム化スポットビームで北米大陸を隈なく接続出来る。Rainbow 1 は、Lockheed Martin 社の A2100AX 衛星で、設計寿命は 18 年である。

Rainbow 1 は AV-003 と称されて、Atlas V の 3 番目の打ち上げになる。Cablevision 社は衛星通信事業者で、ニューヨーク大都市圏内の 300 万の家庭へのケーブルテレビを配信している。

—LM 2003.7.12 プレスリリース記事—